

# 決算説明会

2019年8月 タダノは創業100周年を迎えました。

2019年11月  
株式会社タダノ

Tadano Ltd.

株式会社タダノ

1919年 創業（創業者 多田野 益雄）

1948年 設立

1955年 日本初の油圧式クレーン



2019年 創業 100周年



油圧式トラッククレーン1号機 OC-2 型

## Dinglerstraße



## Wallerscheid



2

## Demag事業の概要

## オールテレーンクレーン

### →フルラインナップ化の実現

- 中小型中心のタダノ+大型に強いDemag  
でお客様の幅広いニーズに対応
- 40~1200t吊り 15機種  
(独TFG:海外向け40~400t吊り 13機種)



3

## クローラクレーン（ラチスブーム式）

### →新たな製品カテゴリの獲得

- ・不整地や地盤が軟弱な現場で機動性に優れる
- ・橋梁、風力発電、プラントなど大型構造物の建設に使用
- ・400～3200t吊り 7機種



4

## 19年度中間決算の結果

- ・中間期としては4年振りの増収増益
- ・通期業績予想は利益を下方修正

5

# 中間決算の概要

損益計算書はDemag事業含まず  
貸借対照表はDemag事業含む

6

## 19年度中間決算のポイント

(単位:百万円)

	18年度中間期		19年度中間期		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	82,272	100.0%	100,304	100.0%	21.9%
営業利益	5,743	7.0%	7,573	7.6%	31.9%
経常利益	5,673	6.9%	7,262	7.2%	28.0%
親会社株主 当期純利益	4,081	5.0%	5,064	5.0%	24.1%

	18年度中間期	19年度中間期
設備投資額	6,595百万円	9,852百万円
減価償却費	1,432百万円	1,588百万円
為替レート(USD)	108.68円	110.05円
為替レート(EUR)	131.64円	124.32円

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

※為替レートは1-6月期中平均レート(海外子会社12月決算のため)

⇒19年度中間期設備投資の内、香西工場関連は7,135百万円

### 【19年度の経営方針】

- ①コアバリューの追求「安全・品質・効率」
- ②中期経営計画(17-19)最終年度の仕上げと次期中計の策定
- ③「赤い矢印」への集中と「黄色い矢印」への取り組み
- ④「青い矢印」の揺れへの備え(両様の構え)と競争激化への対応

#### ◆4年振りの増収増益

#### ◆売上高は4年振りの1,000億円超え

#### ◆日本向け売上高、海外向け売上高ともに増加

⇒日本向け売上高 444億円 → 541億円(+21.9%)  
建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車が揃って増加。

#### 中間連結決算開始以降、過去最高。

⇒海外向け売上高 378億円 → 461億円(+21.9%)  
欧州を除くすべての地域で増加。

#### ◆海外売上高比率 46.0% → 46.0%

#### ◆営業利益率 7.0% → 7.6%

営業利益	57億円	→	75億円
経常利益	56億円	→	72億円
当期純利益	40億円	→	50億円



(単位:百万円)

	18年度中間期		19年度中間期		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	82,272	100.0%	100,304	100.0%	18,031
売上原価	60,382	73.4%	74,195	74.0%	13,813
割賦販売利益	121	0.1%	-56	-0.1%	-178
売上総利益	22,011	26.8%	26,051	26.0%	4,039
販管費	16,267	19.8%	18,478	18.4%	2,210
営業利益	5,743	7.0%	7,573	7.6%	1,829
営業外損益	-70	-0.1%	-310	-0.3%	-240
経常利益	5,673	6.9%	7,262	7.2%	1,589
特別損益	-3	-0.0%	476	0.5%	479
税引前当期純利益	5,669	6.9%	7,739	7.7%	2,069
法人税等	1,569	1.9%	2,684	2.7%	1,115
非支配株主当期純利益	19	0.0%	-9	0.0%	-29
親会社株主当期純利益	4,081	5.0%	5,064	5.0%	982

## 【増減のポイント】

### ◆売上原価率 73.4% → 74.0%

・売価の維持改善・コストダウンによる原価低減に努めるも、コストアップ・製品構成の変化により売上原価率は前年同期比0.6%ポイント悪化。

### ◆販管費 2,210百万円増加

・変動費増加 + 538百万円  
 ・人件費増加 + 173百万円  
 ・その他諸経費増加 + 1,498百万円

### ◆営業外損益

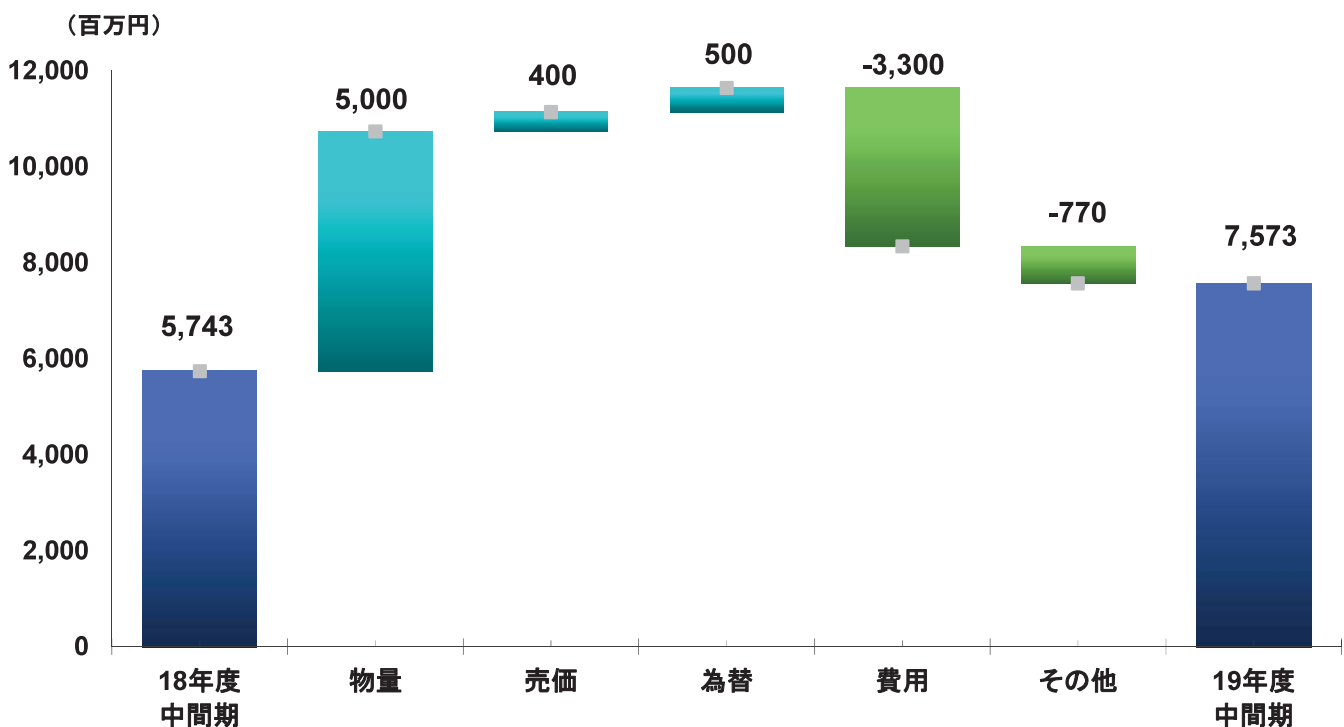
・営業外収益 178百万円 → 192百万円  
 ・営業外費用 249百万円 → 503百万円

### ◆特別損益

・特別利益 6百万円 → 492百万円  
 ・特別損失 9百万円 → 16百万円  
 ※負ののれん発生益487百万円を特別利益にて計上

# 損益計算書(営業利益の増減要因)

売上が増加し、営業利益は18億円の増加。



(単位:百万円)

	18年度末		19年中間期末		比較増減	Demag事業(内数)
	金額	比率	金額	比率		
手許資金	65,952	25.8%	77,441	24.4%	11,489	2,496
売上債権	50,836	19.9%	52,187	16.4%	1,350	6,578
たな卸資産	62,757	24.5%	96,486	30.4%	33,729	27,938
その他	6,610	2.6%	6,994	2.2%	384	1,444
<b>流動資産計</b>	<b>186,156</b>	<b>72.8%</b>	<b>233,109</b>	<b>73.4%</b>	<b>46,953</b>	<b>38,458</b>
有形固定資産	52,597	20.5%	65,967	20.8%	13,370	4,461
無形固定資産	1,703	0.7%	1,854	0.6%	150	198
投資その他の資産	15,336	6.0%	16,602	5.2%	1,265	-16,287
<b>固定資産計</b>	<b>69,637</b>	<b>27.2%</b>	<b>84,424</b>	<b>26.6%</b>	<b>14,787</b>	<b>-11,627</b>
<b>資産合計</b>	<b>255,793</b>	<b>100.0%</b>	<b>317,534</b>	<b>100.0%</b>	<b>61,740</b>	<b>26,830</b>

## 【増減のポイント】

◆**売上債権は増加 508億円 → 521億円**  
(521億円のうちDemag事業分65億円)

⇒売上債権回転期間は改善

(18年度中間 87.2日/18年度 98.5日  
→ 19年度中間 83.2日)

※19年度中間の回転日数はDemag事業を除いて計算

◆**たな卸資産は増加 627億円 → 964億円**

(964億円のうち

TFG分202億円・Demag事業分279億円)

⇒たな卸資産回転期間は悪化

(18年度中間 139.0日/18年度 121.5日  
→ 19年度中間 125.1日)

※19年度中間の回転日数はDemag事業を除いて計算

◆**有利子負債は増加 301億円 → 691億円**

⇒短期 361億円増加 長期 27億円増加

※Demag事業買収資金及び増資資金等をブリッジローンにて356億円借入

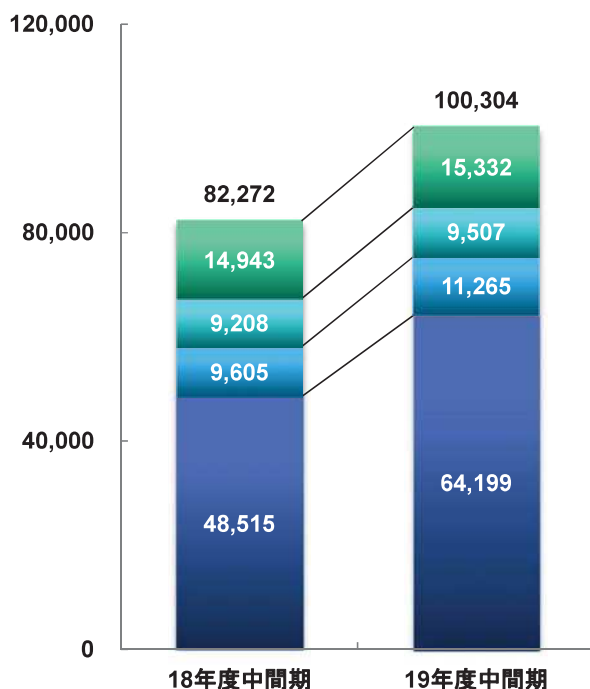
仕入債務	41,792	16.3%	44,652	14.0%	2,860	6,210
有利子負債	30,165	11.8%	69,124	21.8%	38,958	1,321
その他	28,810	11.3%	46,622	14.7%	17,811	18,767
<b>負債計</b>	<b>100,768</b>	<b>39.4%</b>	<b>160,399</b>	<b>50.5%</b>	<b>59,630</b>	<b>26,299</b>
<b>純資産計</b>	<b>155,025</b>	<b>60.6%</b>	<b>157,135</b>	<b>49.5%</b>	<b>2,109</b>	<b>531</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>255,793</b>	<b>100.0%</b>	<b>317,534</b>	<b>100.0%</b>	<b>61,740</b>	<b>26,830</b>

19年度中間決算説明資料(P5より引用)

10

# 製品別売上高

(百万円) ■建設用クレーン ■車両搭載型クレーン  
■高所作業車 ■その他



(単位:百万円)

	18年度中間期		19年度中間期		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	48,515	59.0%	64,199	64.0%	15,683	32.3%
車両搭載型クレーン	9,605	11.7%	11,265	11.2%	1,659	17.3%
高所作業車	9,208	11.2%	9,507	9.5%	299	3.3%
その他	14,943	18.1%	15,332	15.3%	388	2.6%
<b>合計</b>	<b>82,272</b>	<b>100%</b>	<b>100,304</b>	<b>100%</b>	<b>18,031</b>	<b>21.9%</b>

◆海外売上高比率 46.0% → 46.0%

※建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高

日本	17,915	24,984	7,069	39.5%
海外	30,600	39,214	8,614	28.2%

19年度中間決算説明資料(P7より引用)

11

## ➤ 建設用クレーン

- ・日本 需要が増加する中、大型機種の拡販に取り組む
- ・海外 欧州向けを除き、全ての地域で売上が増加

## ➤ 車両搭載型クレーン

- ・日本 安全装置法制化と排ガス規制駆け込みによる需要増
- ・海外 東南アジア・中東向けの拡販に注力

## ➤ 高所作業車

- ・排ガス規制駆け込み需要の中、インフラ点検補修用途及び通信向け機種の売上減少も、レンタル業界向け売上が増加

# 通期業績予想修正の概要

Demag事業は5ヶ月分(8月～12月)を含む

13

(単位:百万円)

	18年度		19年度予想		タダノ (従来ベース)		Demag		増減率
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	188,451	100.0%	228,000	100.0%	200,700	100.0%	27,300	100.0%	21.0%
営業利益	15,835	8.4%	10,000	4.4%	14,500	7.2%	-4,500	-16.5%	-36.8%
経常利益	15,604	8.3%	10,000	4.4%					-35.9%
親会社株主当期純利益	11,462	6.1%	5,000	2.2%					-56.4%

\*19年度業績予想を10月30日付で修正しております。

1株当たり配当金	中間	13.00円	中間	14.00円
	期末	13.00円	期末	14.00円
	年間	26.00円	年間	28.00円

\*19年度中間・期末配当には記念配当1円を含んでおります。

設備投資額	14,458百万円	11,500百万円
減価償却費	2,984百万円	3,800百万円
為替レート(USD)	110.43円	108.00円(下期)
為替レート(EUR)	130.42円	120.00円(下期)

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

\*下期為替レート(EUR)を10月30日付で修正しております。

## 【19年度の経営方針】

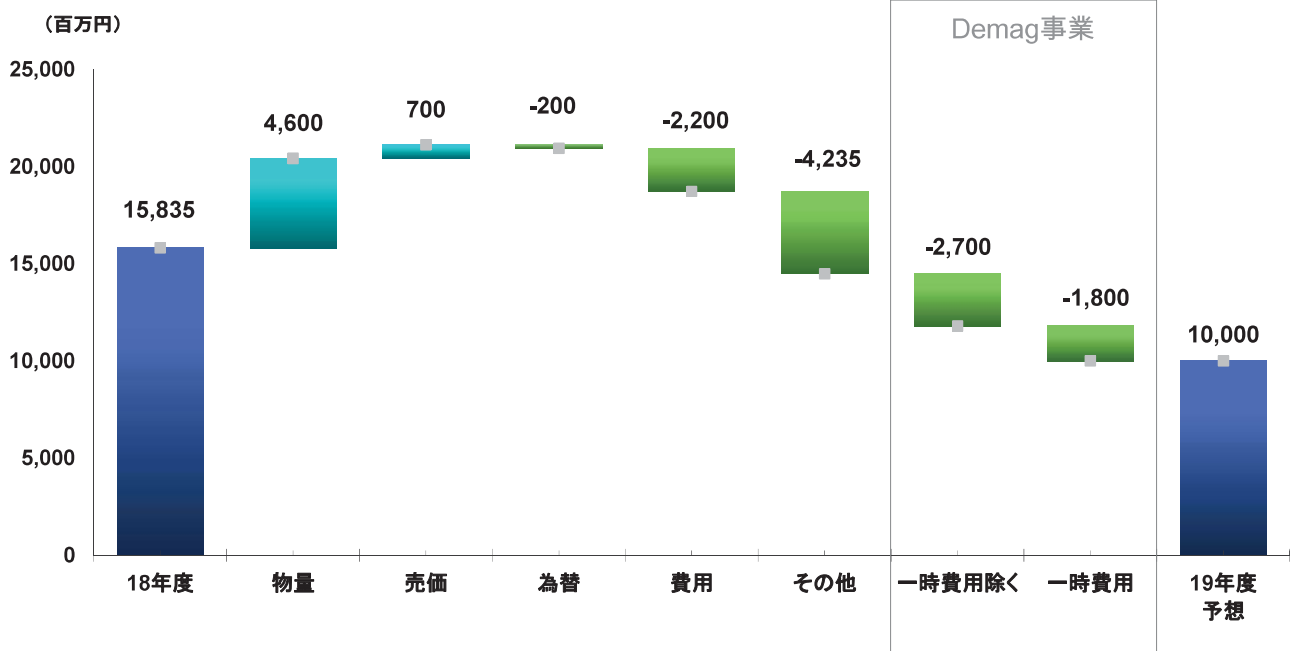
- ①コアバリューの追求「安全・品質・効率」
- ②中期経営計画(17-19)最終年度の仕上げと次期中計の策定
- ③「赤い矢印」への集中と「黄色い矢印」への取り組み
- ④「青い矢印」の揺れへの備え(両様の構え)と競争激化への対応

◆19年度海外売上高比率 55.5%



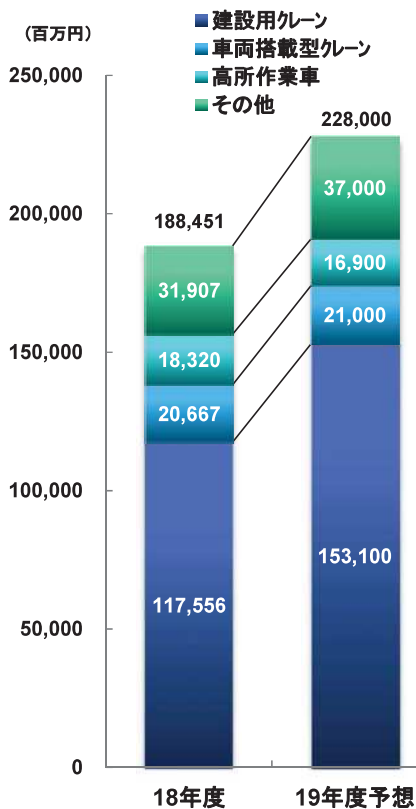
# 19年度業績予想(営業利益の増減要因)

売上が増加するも、費用の増加、Demag事業連結により、営業利益は58億円の減少。



19年度中間決算説明資料(P29より引用)

# 19年度業績予想(製品別売上高)



	18年度		19年度予想		タダノ (従来ベース)		Demag		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
	建設用クレーン	117,556	62.4%	153,100	67.1%	131,150	65.3%	21,950	80.4%	35,544
車両搭載型クレーン	20,667	11.0%	21,000	9.2%	21,000	10.5%	0	-	333	1.6%
高所作業車	18,320	9.7%	16,900	7.4%	16,900	8.4%	0	-	-1,420	-7.8%
その他	31,907	16.9%	37,000	16.2%	31,650	15.8%	5,350	19.6%	5,093	16.0%
合計	188,451	100%	228,000	100%	200,700	100%	27,300	100%	39,549	21.0%

◆海外売上高比率 48.5% → 55.5%

※建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高

	18年度	19年度予想	タダノ (従来ベース)	Demag	比較増減	増減率
日本	42,250	48,400	48,300	100	6,150	14.6%
海外	75,306	104,700	82,850	21,850	29,394	39.0%

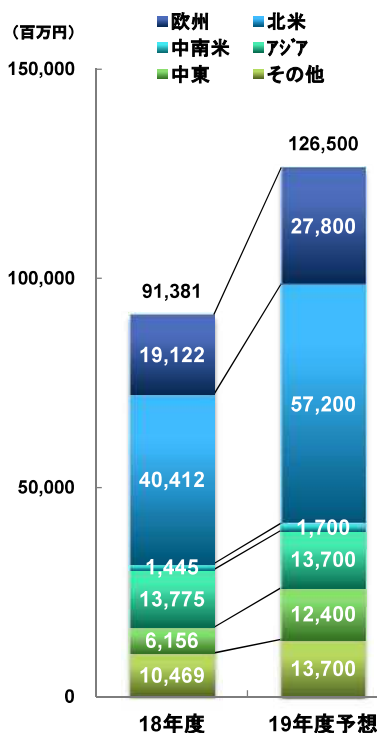
\*19年度業績予想を10月30日付で修正しております。

19年度中間決算説明資料(P30より引用)

# 19年度業績予想(仕向地別売上高)



Lifting your dreams



(単位:百万円)

	18年度		19年度予想		タダノ (従来ベース)		Demag		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	19,122	10.1%	27,800	12.2%	19,400	9.7%	8,400	30.8%	8,678	45.4%
北米	40,412	21.4%	57,200	25.2%	46,600	23.2%	10,600	38.9%	16,788	41.5%
中南米	1,445	0.8%	1,700	0.7%	1,600	0.8%	100	0.4%	255	17.6%
アジア	13,775	7.3%	13,700	6.0%	12,500	6.2%	1,200	4.4%	-75	-0.5%
中東	6,156	3.3%	12,400	5.4%	6,600	3.3%	5,800	21.2%	6,244	101.4%
その他	10,469	5.6%	13,700	6.0%	12,650	6.3%	1,050	3.8%	3,231	30.9%
小計 (海外計)	91,381	48.5%	126,500	55.5%	99,350	49.5%	27,150	99.5%	35,119	38.4%
日本	97,069	51.5%	101,500	44.5%	101,350	50.5%	150	0.5%	4,431	4.6%
合計	188,451	100%	228,000	100%	200,700	100%	27,300	100%	39,549	21.0%

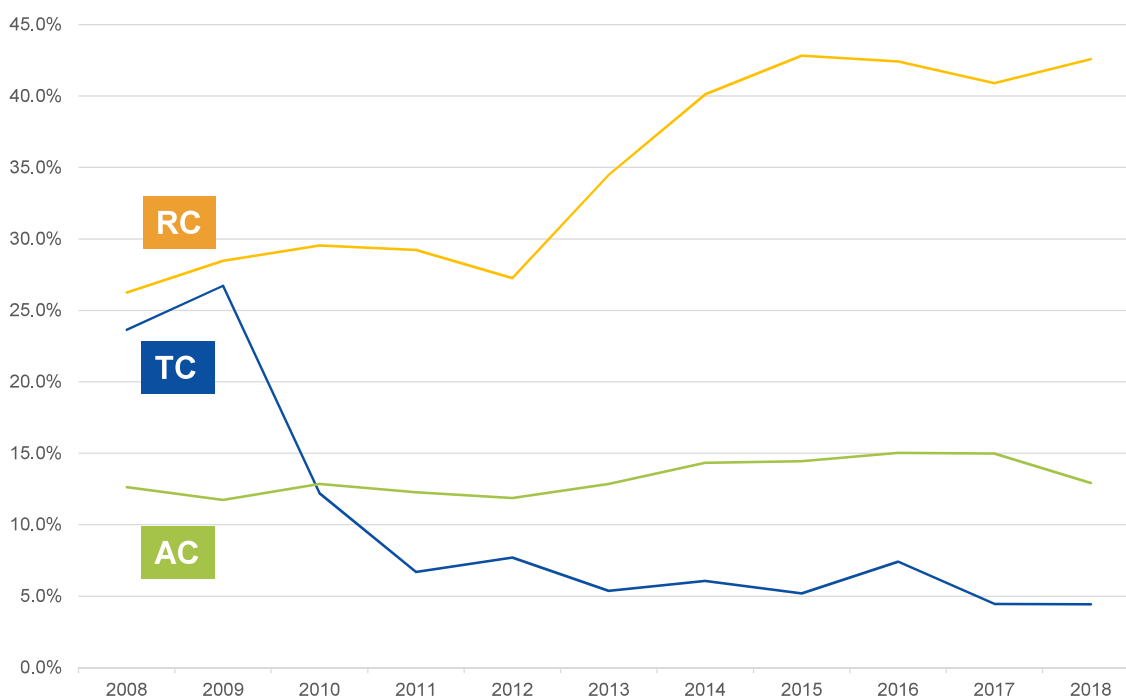
\*19年度業績予想を10月30日付で修正しております。  
 ※左のグラフには日本を含んでおりません。  
 その他は、オセアニア、アフリカ、GIS。

# 赤い矢印(建設用クレーン市場でのポジション)

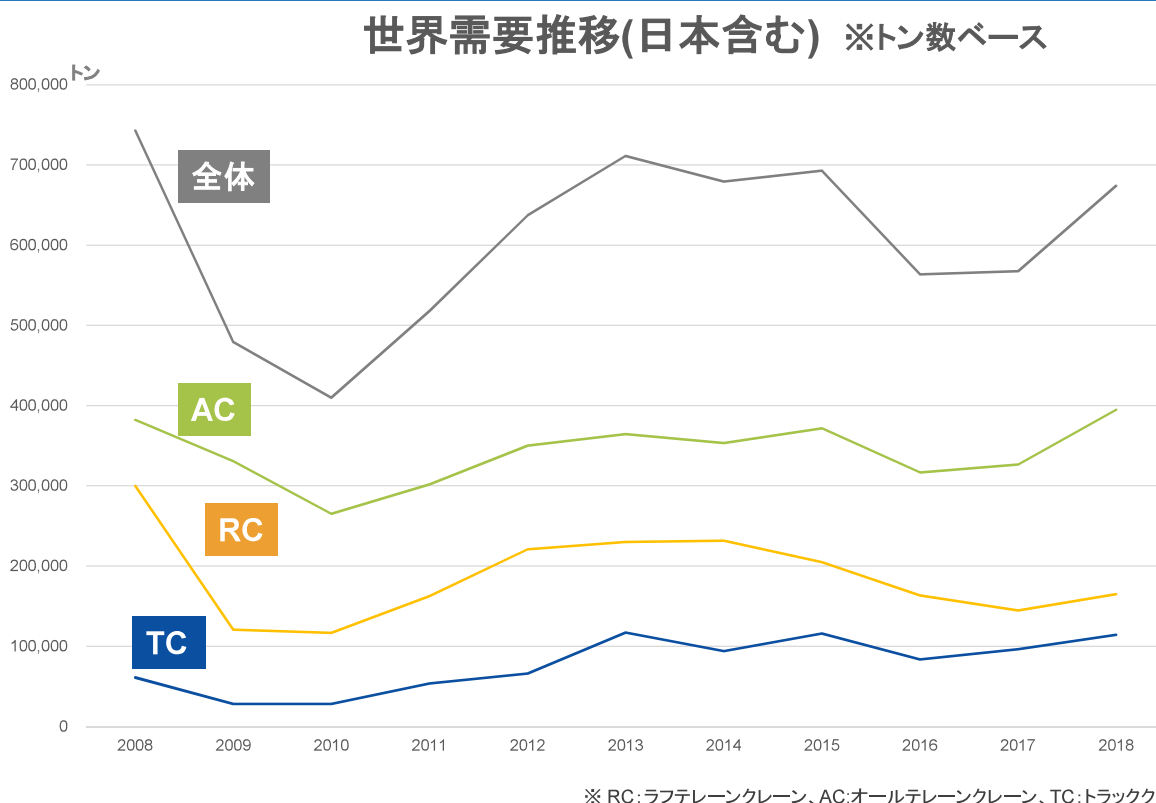
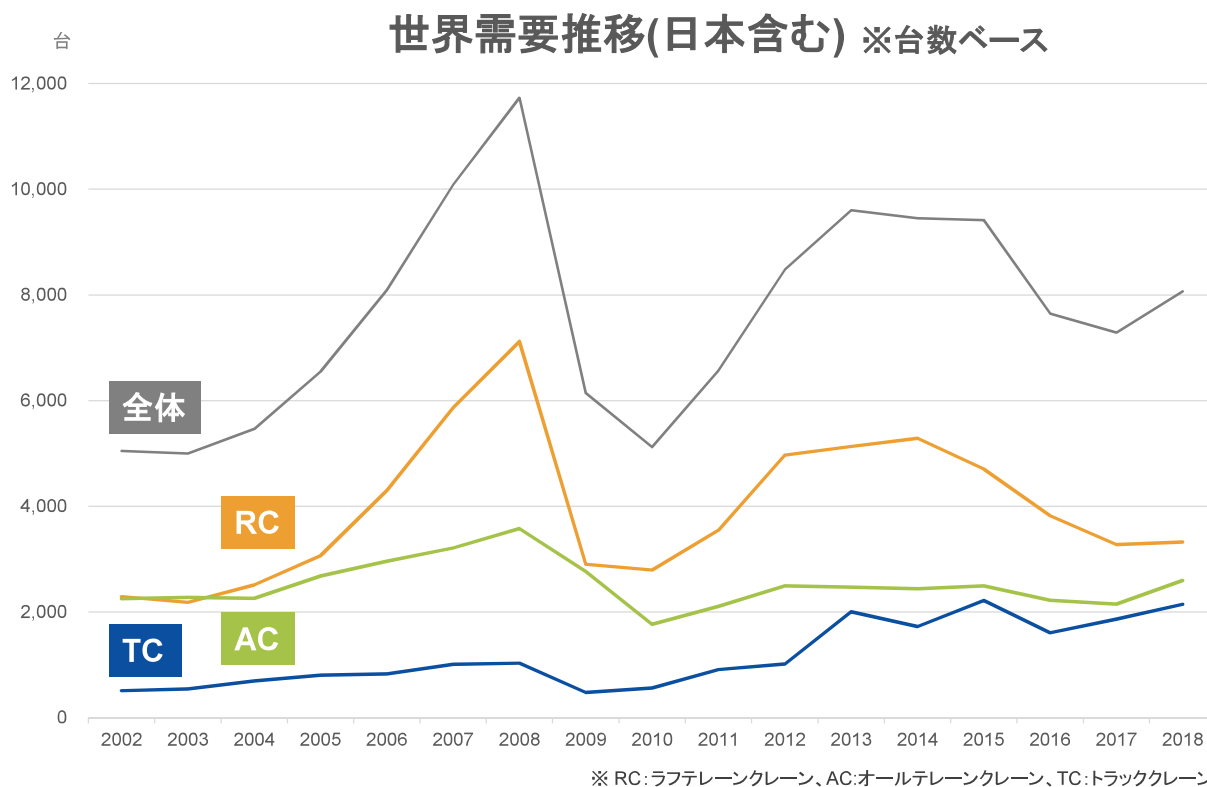


Lifting your dreams

タダノ世界シェア(日本含む) ※台数ベース



※ RC:ラフテレーンクレーン、AC:オールテレーンクレーン、TC:トラッククレーン



- ・香西工場  
→RC・TCのマーケットシェア引き上げ
- ・Demag買収(TFG+TDG)  
→ACのトップ追撃とCC参入
- ・インド事業(TEI)  
→TCにおける中国勢対抗

⇒ 今後の成長・飛躍のため、  
あえて『**重荷**』を背負った

※ TFG: Tadano Faun GmbH, TDG: Tadano Demag GmbH, TEI: Tadano Escorts India

21

- ・売上3,000億円以上を狙える『**材料**』はそろった
- ・それらをどう『**料理**』するか

⇒ 『長期利益の成長』を目指して、  
『オーガニックな成長』に注力する

ポイントは**欧州事業(TFG・TDG)**

22

## 2期連続赤字、19年度も苦戦

⇒超大型ACへの取組みに開発工数を取られ、サプライヤ品質問題も重なり、原価率・品質が悪化

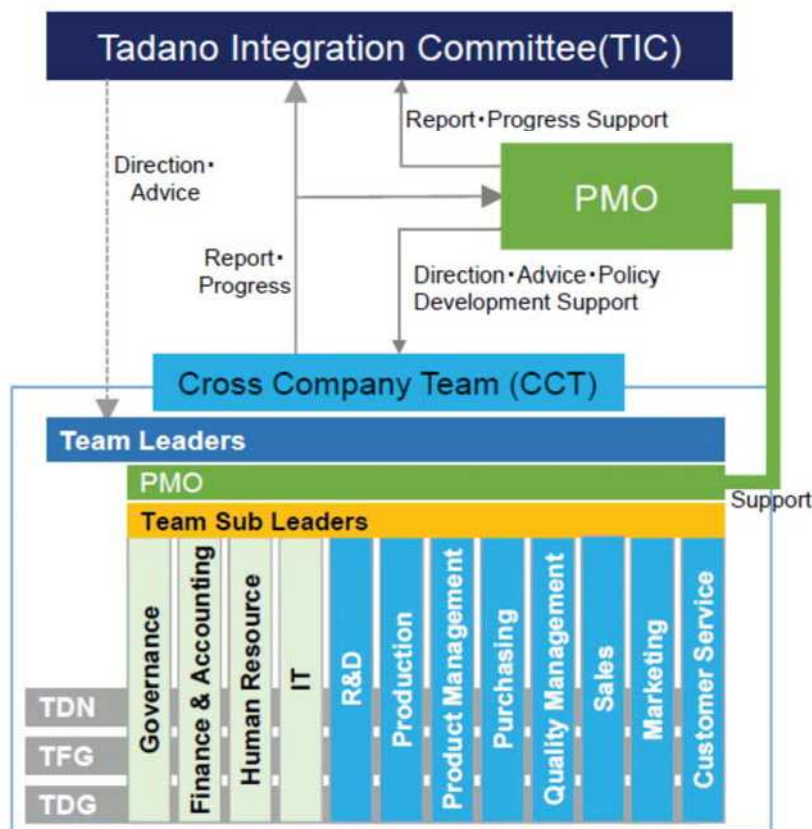
- ・サプライヤ含む品質の改善
- ・開発・設計のレベルアップ
- ・サービス力の強化

23

買収したDemag事業(TDG)は赤字体質

24





TFGとTDGでシナジー効果を発揮すべく、  
TIC・CCTを設けて、Best Practice追求中

早期統合効果が期待できるのは、  
購買・生産・CS

更に、製品ラインナップの整理・統合、  
営業ネットワークの再整備に注力

TFG+TDGを20・21年度で立て直し、  
22年度から黒字化

⇒20・21年度はタダノグループ全体で  
営業利益100億円以上確保

**22年度から利益成長軌道に**

**CHANGE**

**or**

**DIE**

世界に、そして未来に誇れる企業を目指して

Pursuing Further Excellence  
for the World and the Future.